

喜界町

図書館だより

11月号



【 通算 第293号 】

2020（令和2）年11月1日発行

〒891-6201

喜界町大字赤連字樋口前30番地

TEL：0997-65-0962

FAX：0997-65-2523

e-mail:info@kikai-lib.jp

ブックスタート
図書館からのプレゼント!
(コットンバッグ・絵本)



赤ちゃんと保護者が、絵本を介して一時の心の触れ合いをつかむ、きっかけづくりのお手伝いをしています。

★(受け取りは0歳児のみ。ブックスタートの文書が届いたのち、図書館にご来館ください。)

ウヤンコー（高祖祭）の季節

11月15日（日）に、喜界島の半数以上の集落でウヤンコーが実施されます。上嘉鉄出身の盛山末吉氏は著書「しつる村物語」の中で、「九月の村祭りを終えた後の『ミズノエイヌ』の日にウヤンコー（高祖祭）が実施される。高祖祭は家族中、集落揃って墓地に出かけ墓参りをする行事である。喜界島では、ミズノエイヌの日に高祖祭をするのは、滝川校区、湾校区、荒木校区、上嘉鉄校区、阿伝校区と早町校区の嘉鈍だけであり、そのほかの集落は『シバサシ』の日に実施している。

ウヤンコーは、墓前に供え物をあげ、香をたて、家族中で心をこめてお参りした。自分の墓だけでなく、本家、親戚、隣近所の墓にもおみきや香をあげてお参りをする。高祖祭は、遠く本土に在住する人々や他集落にいる親戚の人々も相寄る日であり、ウヤフジを囲んでゆっくり語り合う懇親のときである。」と述べています。

こうした高祖祭は喜界島独特の年中行事で、お盆には帰省しなくてもウヤンコーやシバサシには帰省するという出身者も多いと聞きます。このように集落をあげて祖先を敬う風土が、喜界島の人々の優しい心や結いの精神を育てていると思います。

読書の醍醐味

読書の醍醐味について、元伊藤忠商事会長の丹羽卯一郎氏は著書「死ぬまで読書」の中で、「これから読書の習慣をつけようという人は、自分の関心が向かうものを徹底して読めばいいと思います。そうすれば、やがて飽きて違うものに興味を持つときがくるでしょう。どんなものでも数多く読めば、必ずいろいろな好奇心の種が心に播かれます。すると、その種が発芽し、いままでなじみのなかった類いの本に食指が動く。それとともに読書の幅が広がり、読む本のレベルも上がっていきます。読解力がつき、読むスピードも速くなるでしょう。まさに螺旋（らせん）をえがくように読書力がついてくる。それもまた読書の醍醐味です。」と述べています。

読書の秋も終盤を迎えましたが、読書の秋は満喫できていますか?もし満喫できていないという人がいたら、まずは図書館に来て興味のある本を一冊手にとってみてはいかがでしょうか。手にとった一冊の本が、やがていろんなジャンルの本に興味の輪を広げ、これまで見たこともないような新しい世界を見せてくれるかもしれません。

おしらせ



本は期間内に返却しましょう!

募集中!

読み聞かせボランティアを募集しています。
興味のある方は、図書館へ連絡ください。

クリスマスおはなし会



期日: 12月5日(土)

時間: 14:00~15:00

場所: 喜界町図書館2階



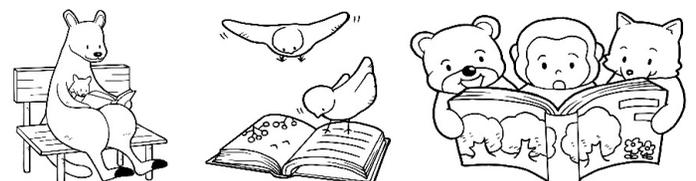
- ★ 楽しいイベント盛りだくさん、お楽しみに!
- ★ アニメ映画上映など

※ お家の人やお友達と一緒にご来館ください。
お待ちしております。

ぬいぐるみおとまり会

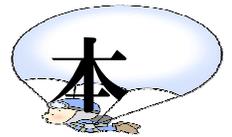
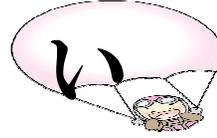
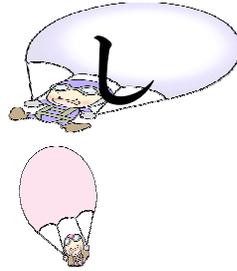
「活字ばなれ」と言われる子どもたちに、ぬいぐるみが図書館で宿泊するという疑似体験をさせることで、図書館をより身近に感じてもらうイベントです。

- 期日: 令和2年12月5日(土)
(クリスマスおはなし会終了後)
- 場所: 喜界町図書館内
- 対象者: 3歳~小学3年生
- 参加費: 無料
- 定員: 先着20名
- 申込み期間: 11月21日(土)より開始





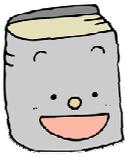
《おとなの本》



《こどもの本》

- ★『テロリストの家』中山七里 著 双葉社
国際テロを担当する警視庁公安部のエリート刑事・幣原の息子が、テロリストに志願したとして逮捕されてしまい…。守るべきは正義か、家族か。幣原の選択とは？社会派ミステリー。
- ★『ぴりりと可楽！』吉森大祐 著 講談社
修行の末、前代未聞の即席芸（三題噺）で一世一代の大勝負に打って出た又五郎は…。お笑い興業が禁止されて100年。旦那集の道楽となったお笑いを庶民の娯楽へと飛躍させた三笑亭可楽の人生を描く。
- ★『愛されなくても別に』武田綾乃 著 講談社
愛情は、すべてを帳消しにできる魔法なんかじゃない。「輝け！ユーフォアニウム」シリーズの著者・武田綾乃が、生きづらい現実と女の子同士の友情を描く。行き詰まる「現代」に風穴をあける作品。
- ★『かきあげ家族』中島たい子 著 光文社
- ★『はじめての読書メソッド』
有元秀文 松原ゆかり 著 合同出版
- ★『おうちでとれたて野菜』
河村毬子著 伊藤龍三監修 河出書房新社

- ★『紙の心』エリーザ・グエッラ作 長野徹訳 岩波書店
ある日、図書室の本にはさまれた手紙を見つけた少年は顔も名前も知らない相手との文通にのめりこむ。互いの日常や思いをつづりあうなか、自分たちが暮らす研究所に隠された秘密に気づき…。
- ★『AIロボット、ひと月貸します！』
木内南緒作 丸山ゆき絵 岩崎書店
未来科学研究所の所長さんが貸してくれた「AIロボット」。ぼくの分身が作れてしまうんだって。そしてあらわれた、ぼくそっくりのロボット…。
- ★『あつかったらぬげばいい』ヨシタケシンスケ著 白泉社
ヘトヘトにつかれたら、だれもわかってくれなかったらせいかいがかわってしまったら…。子ども、大人、おじいちゃんのさまざまな疑問に痛快に答える、ヨシタケ式心を温める絵本。
- ★『ねがいごと』そのだえり絵 あさのますみ作 学研プラス
- ★『かぼちゃのだいおう』おおいじゅんこ作 ほるぷ出版
- ★『ばんそうこうくださいな』矢野アケミ作 WAVE出版



9月の貸出ベストリーダー3



一般書		児童書		雑誌	
1	大江戸監察医 鈴木 英二 /著	1	地下100かいだてのいえ 絵本	1	文藝春秋 9月号
2	あめつちのうた 朝倉 宏景 /著 とるとだす 畠中 恵 /著 ティンカー・ベル殺し 小林 泰三 /著 そこにはいない男たちについて 井上 荒野 /著 ワイルドサイドをほっつき歩け プレイディみかこ /著	2	絶滅動物最強王図鑑 自然科学 いないいないばああそび 絵本 くらいくらい 絵本 スマホをひろったにわとりは 絵本	2	家の光 4月号 NHKすてきにハンドメイド 8月号 NHKきょうの料理 9月号 Casa BRUTUS 6月号

11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
	休館日			資料 休館日	ブックス タートお はなし会	おはなし 会
8	9	10	11	12	13	14
	休館日			団体貸出 (各坊・各保・てく てく・子支援・ 早小児童)		おはなし 会
15	16	17	18	19	20	21
	休館日		移動図書 (早町小学校 1~3年)	移動図書 (早町小学校 4~6年)	子育て支 援来館	おはなし 会
22	23	24	25	26	27	28
	祝日開館日 (勤労感謝 の日)	休館日				おはなし 会
29	30	12/1	12/2	12/3	12/4	12/5
	休館日					クリスマ スおはなし 会

※ は、休館日です
《毎週月曜日・第1木曜日(祝日の時は翌日)》
・開館時間 午前10時~午後6時

9月統計 (23日)	貸出冊数	令和2年度合計
	3,721 冊	20,998 冊
	来館者数	令和2年度合計
	1,075 名	4,581 名

おはなし会・ミニ映画

図書館2階で
毎週土曜日 午後2時~2時40分

★おともだちどうし、おさそい合わせ
のうえ、お気軽にご参加ください。

